

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：感染症科 石川 和宏

【研究責任者】 聖路加国際病院 感染症科 石川 和宏

【研究分担者】 聖路加国際病院 感染症科 森 信好

入院中に発熱性好中球減少症患者での真の菌血症や真菌血症に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月から2022年3月までに発熱性好中球減少症患者で菌血症や真菌血症と
当院で診断され（診断当時18歳以上）入院していた患者さん

2. 研究の目的・方法

日本での血液腫瘍患者で白血病や骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫など疾患ごとの菌血症や真菌血症での耐性菌疫学のデータは乏しくデータベースの構築が求められています。厚生労働省院内感染対策サーベイランス (Japan Nosocomial Infections Surveillance; JANIS) 事業では参加病院から耐性菌などの菌株情報を集めていますが臨床情報はありません。一方で、DPC (Diagnosis Procedure Combination) 情報からは患者の臨床情報を集計することができ、多施設での共同研究も行われていますが微生物学情報はありません。本研究では血液腫瘍患者さんのうち菌血症や真菌血症を起こした患者さんの DPC と JANIS データを結合することで真の感染症を正確に抽出する方法論を開発することを目的とします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、DPCやJANIS、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2026年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、既往歴、バイタルサイン(脈拍、血圧、呼吸、体温)、血液検査、画像検査、入院期間、カルテ番号 等